

慶應義塾大学出版会
美術史学会会員様向け
書籍割引販売のご案内

割引販売：対象書目 38 点 20% OFF

割引販売期間：2020 年 12 月 25 日（金）まで

◆ご注文方法◆

- ① Eメール (chokuhan@keio-up.co.jp) にて承ります。
メールの件名には、必ず「美術史学会割引販売」とご記入ください。
注文用紙を添付していただくか、必要事項を Eメール文中にてお知らせください。
- ② FAX (03-3451-3122) で承ります。
注文用紙に必要事項をご記入いただき、お申込みください。

◆割引販売について◆

- 上記のいずれかの方法で弊社へ直接お申し込みください。2 割引にて承ります。
- リスト掲載書目の 38 点が対象となります。割引価格は税込表示です。

◆お支払方法・送料など◆

- お支払いは、郵便振込のみとなります。
- 書籍に振替用紙を同梱いたしますので、ご利用ください。
- 送料は送付先 1 件につき、一律 400 円（税込）です。
※ 1 冊の場合も、複数冊の場合も、送料は変わりません。

◆割引書籍のご案内◆

弊社 web の
書籍詳細へのリンク
↓

	<p>井奥陽子 著 バウムガルテンの美学 — 図像と認識の修辞学 2655-7 A5 判上製 344 頁 5,800 円</p>	<p>バウムガルテンの美学が伝統的の修辞学と強固に結びついていたことの内実と意義を問うことによって、未完の名著『美学』のうちに、現代にも通じる芸術論の可能性を見出し再評価する、本邦初の研究書。 (‘20)〈701.1〉</p>	
	<p>ネルソン・グッドマン 著／戸澤義夫・松永伸司 訳 芸術の言語 2224-5 四六判上製 352 頁 4,600 円</p>	<p>芸術を〈記号システム〉として解読し、記号の一般理論を構築する。絵画、音楽、ダンス、文学、建築……芸術へのアプローチを根本的に転換した 20 世紀美学の最重要著作。 (‘17)〈701.1〉</p>	
	<p>リチャード・ウォルハイム 著／松尾大 訳 芸術とその対象 2684-7 四六判上製 320 頁 4,200 円</p>	<p>再現や表現、意図の意味など、美学の基本問題について現在の定説を基礎づけた 1968 年刊行のロングセラー。芸術作品を哲学的に考察し、文化や社会においてそれらがどのような役割を果たしているか明らかにする。 (‘20)〈701.1〉</p>	
	<p>アーサー・C・ダントー 著／松尾大 訳 ありふれたものの変容 — 芸術の哲学 2484-3 四六判上製 372 頁 4,600 円</p>	<p>アンディ・ウォーホルの《プリロ・ボックス》はなぜ芸術なのか？ 芸術表象を独自に解釈し、メタファー、表現、様式を体系的に説明する。平凡なものがどのように芸術になるのか、哲学的に明らかにする 20 世紀美学最大の成果。 (‘17)〈701〉</p>	
	<p>松永伸司 著 ビデオゲームの美学 2567-3 A5 判並製 376 頁 3,200 円</p>	<p>産業規模の拡大とともに、文化的重要性が増しつつあるビデオゲーム。スペースインベーダー、スーパーマリオブラザーズ等、多くの事例をとりあげながら、ビデオゲームを芸術哲学の観点から考察し、理論的枠組みを提示する画期的な一冊。 (‘18)〈797.9〉</p>	
	<p>セオドア・グレイシク 著／源河亨・木下頌子 訳 音楽の哲学入門 2588-8 四六判上製 208 頁 2,500 円</p>	<p>気鋭の研究者による、音楽の哲学および芸術の哲学の入門書。単なる音と音楽の違い、音楽鑑賞に必要な知識、音楽と情動の関係、音楽経験がもたらすスピリチュアリティなど、古くから議論されてきた問題をとりあげ、音楽を哲学的に考察する。 (‘19)〈760.1〉</p>	
	<p>源河亨 著 悲しい曲の何が悲しいのか — 音楽美学と心の哲学 2634-2 四六判上製 228 頁 2,500 円</p>	<p>「音楽聴取」に焦点をあわせ、美的判断の客観主義を擁護する立場をとりつつ、音とは何か、なぜ人は悲しい音楽を聴くのか、音楽と情動はどのように結びついているのか、などさまざまなトピックについて論じていく野心作。 (‘19)〈702.37〉</p>	
	<p>ジャン＝マリー・シュフェール 著／久保昭博 訳 なぜフィクションか？ — ごっこ遊びからバーチャルリアリティまで 2575-8 A5 判上製 352 頁 5,000 円</p>	<p>物語論、哲学、人類学、心理学、認知科学等の観点から、文学や映画からビデオゲームにいたるあらゆるフィクションの形式を分析し、フィクションを人類に普遍的に備わる「心的能力」としてとらえなおす重要書。 (‘19)〈701〉</p>	
	<p>ジョルジョ・アガンベン 著／高桑和巳 編訳 ニンファ その他のイメージ論 2142-2 四六判上製 272 頁 3,200 円</p>	<p>重要論文「ニンファ」をはじめ、アガンベンのイメージ論、絵画論 20 篇を編訳者が独自に集成。イメージを問い求めるなかで、折に触れて書き継がれた論考群から、アガンベンの唱える美学・政治・倫理が浮き彫りになる。 (‘15)〈704〉</p>	
	<p>石田圭子 著 美学から政治へ — モダニズムの詩人とファシズム 2084-5 A5 判上製 288 頁 4,000 円</p>	<p>ホーフマンスタール、T.E.ヒューム、エズラ・パウンドといった、20 世紀初頭の代表的なモダニズム詩人を取りあげ、彼らの芸術運動の核心にある「形式（ゲシュタルト）」に迫りながら、「芸術」と「政治」の多義的な関係を探る。 (‘13)〈704〉</p>	

	<p>ミヒャエル・パーモンティエ 著／眞壁宏幹 訳 ミュージアム・エデュケーション —感性と知性を拓く想起空間 1967-2 四六判上製 300 頁 3,800 円</p>	<p>ミュージアムの使命は、モノが物語るその歴史や思想と向き合い、「自分」について、そして「自分」と世の中とのつながりを再構築していく空間を創造することである。その新しいあり方として、ヴァーチャル・ミュージアムの試みを紹介する。 (12)〈069〉</p>	
	<p>池野絢子 著 アルテ・ポーヴェラ —戦後イタリアにおける芸術・生・政治 2318-1 A5 判上製 384 頁 5,400 円</p>	<p>戦後イタリアの芸術運動「アルテ・ポーヴェラ」とはいったい何だったのか？ その特異な前衛芸術運動の歴史の変遷を辿りつつ、個々の芸術家の作品を地政学的観点から捉えなおし、一連の活動の輪郭を浮かび上がらせる力作。 (16)〈702.37〉</p>	
	<p>ハワード・S・ベッカー 著／後藤将之 訳 アート・ワールド 2324-2 A5 判並製 484 頁 4,800 円</p>	<p>誰もがアーティストになりうる時代の「創造のプロセス」を鮮やかに解明し、全包括的な「アート・ワールド」の理論を提示する、アメリカを代表する社会学者ベッカーの傑作。 (16)〈702.37〉</p>	
	<p>眞壁宏幹 著 ヴァイマル文化の芸術と教育 —バウハウス・シンボル生成・陶冶 2661-8 A5 判上製 416 頁 6,000 円</p>	<p>古典的価値の崩壊、教育の大衆化に直面し、「現代(モデルネ)」に要請される「新しい人間」の創造を目指したバウハウス。その思想と実践をつなぎ合わせ、ヴァイマル文化のなかに一つの〈星座〉を描き出す。 (20)〈707〉</p>	
	<p>横山千晶 著 ジョン・ラスキンの労働者教育 —「見る力」の美学 2515-4 四六判変型並製 120 頁 700 円</p>	<p>19 世紀イギリスの思想家ジョン・ラスキンが労働者大学で行った教育の実態を平易に描きだし、ラスキンと労働者たちの実践が、現代における教養教育(再生)へのヒントとなりうることを示唆する。 慶應義塾大学教養研究センター選書18 (18)〈707.7〉</p>	
	<p>林温 著 日本美術がワカル本 —「女性性」の文化 2488-1 新書判並製 100 頁 700 円</p>	<p>味があるのはワカルけど、ホントのところはワカラナイ日本の美術。浮世絵、仏像、水墨画——。西洋・中国と比べて見えてくる、「女性性」の伝統をこの一冊でダイジェスト。日本美術で感動するための入門書。 慶應義塾大学三田哲学会叢書 ars incognita (17)〈702.1〉</p>	
	<p>内藤正人 著 浮世絵とパトロン —天皇・将軍・大名の愛した名品たち 2118-7 四六判並製 224 頁 2,500 円</p>	<p>葛飾北斎『西瓜図』、歌川国芳『山王祭礼』、などの名品の数々を、天皇や将軍や大名たちはどのように愛し収集したのか。江戸初期から幕末までの作品を丁寧に読み解き、浮世絵の文化的・歴史的背景を浮き彫りにする。 【図】(14)〈721.8〉</p>	
	<p>浮世絵ってどうやってみるんだ？ 会議編 触れ、語れ —浮世絵をめぐる知的冒険 1836-1 四六判変型並製 114 頁 700 円</p>	<p>慶應義塾が所有する浮世絵コレクションを通じて、江戸時代の出版文化を知る。また、視覚障害者のための触図を作る試みから、新たな表現力や想像力を養う方法を模索する。 慶應義塾大学教養研究センター選書9 (11)〈721.8〉</p>	
	<p>慶應義塾大学アート・センター 編 瀧口修造 1958 —旅する眼差し 1662-6 [写真集]B5 判変型上製 144 頁+[解説書]B5 判変型並製 224 頁+付録4種 50,000 円 特製ボックス入り</p>	<p>詩人・瀧口修造が、1958 年にヨーロッパを周遊した際、みずからシャッターを切り、選じた写真を集成。写真集に加え、瀧口綾子宛書簡、解題、旅程を収録した「解説書」などを特製ボックスに収めた愛蔵版。 (09)〈748〉</p>	
	<p>望月典子 著 ニコラ・プッサン —絵画的比喩を読む 1716-6 A5 判上製 556 頁 8,000 円</p>	<p>フランス古典主義の画家プッサンは「絵画的比喩」を駆使し、絵画にあらゆる「意味」を託した。リシュリユー枢機卿の依頼で描いた作品などを分析し、野心家プッサンのたくらみを明らかにする。2011 年度地中海学会ヘレンド賞受賞。 (10)〈723.35〉</p>	

	<p>望月典子 著 タブローの「物語」 —フランス近世絵画史入門 2709-7 新書判並製 104 頁 700 円</p>	<p>タブロー (tableau) とは、板あるいは画布に絵の具で描かれた、持ち運び可能なイメージを意味するフランス語。このタブローから西洋絵画の歴史を捉えなおし、そこに何が描かれてきたかを論じる。 慶應義塾大学三田哲学会叢書 ars incognita ('20) <723.35></p>	
	<p>石多正男 著 リート 歌曲と絵画で学ぶドイツ文化史 —中世・ルネサンスから現代まで 2147-7 A5 判並製 344 頁 2,700 円</p>	<p>音楽、絵画、ドイツ社会史それぞれの領域に関心のある読者の知識をつなぎ、ドイツの文化と社会に対する一層の理解を促す良質な新しいタイプの、ドイツ文化入門書！</p>	
	<p>荒金直人 著 写真の存在論 —ロラン・バルト『明るい部屋』の思想 1670-1 四六判上製 168 頁 2,200 円</p>	<p>ロラン・バルト最期のテキスト『明るい部屋』に深く寄り添い、バルトが企てた「写真の存在論」を引き受け、写真と経験、経験と存在、存在と写真の関係を読み解く注目の書。</p>	
	<p>スタン・ナイト著／高宮利行監修／安形麻理訳 西洋活字の歴史 —グーテンベルクからウィリアム・モリスへ 2111-8 B4 判変型上製 108 頁 6,000 円</p>	<p>活版印刷の誕生から 20 世紀初頭までのすぐれた活字体を時代順に紹介。インクのにじみが見えるほどの迫力あるオリジナル写真と明快な解説で、西洋活字のつくりと歴史を同時に学べるヴィジュアル・ブック。</p>	
	<p>ジョゼフ・カーマンほか著／福中冬子訳・解説 ニュー・ミュージコロジー —音楽作品を「読む」批評理論 1978-8 A5 判並製 468 頁 3,200 円</p>	<p>ポスト構造主義、記号論、ジェンダー論など幅広い領域にクロスオーバーする理論と動機に基盤をおく「ニュー・ミュージコロジー」の全容を、世界的権威の主要論文の翻訳および訳者の詳細な解説で紹介する、本格的入門書。</p>	
	<p>佐藤望 著 ドイツ・バロック器楽論 —1650～1750年頃のドイツ音楽理論における器楽のタイポロジー 1227-7 A5 判上製 328 頁 6,000 円</p>	<p>1650～1750年にドイツで書かれた音楽理論の著作や楽譜資料の徹底した資料調査から、17・18世紀ドイツ器楽をめぐる概念が、多元的概念体系であったことを明らかにした資料的価値の高い研究。</p>	
	<p>滝藤早苗 著 ライヒャルト —ゲーテ時代の指導的音楽家 2489-8 A5 判上製 592 頁 14,000 円</p>	<p>ライヒャルトは、プロイセンの宮廷音楽長を務めながら、世界初の音楽評論家としても活躍し、近代ドイツ文化に大きな影響を与えた。ゲーテをはじめ、錚々たる面々と交流をもち、ジャンルを問わない活躍を見せた才人の生涯を、鮮麗に描く。第3回西脇順三郎賞受賞</p>	
	<p>太田峰夫 著 バルトーク 音楽のプリミティヴィズム 2472-0 A5 判上製 280 頁 4,500 円</p>	<p>バルトークの創作における、モダニスト作曲家としての一面と、文化ナショナリズムの一面とが、どのような関わりをもっていたのかを分析し、バルトークの作品様式にも同じ二面性があらわれていることを論証する。</p>	
	<p>ソロモン・ヴォルコフ著／亀山郁夫・梅津紀雄・前田和泉・古川哲訳 ショスタコーヴィチとスターリン 2499-7 四六判上製 560 頁 5,800 円</p>	<p>スターリンによる大粛清の嵐のなか、ショスタコーヴィチは全体主義と芸術の相克をどのように乗り越えようとしたのか。天才芸術家と独裁者の奇妙な「共犯」関係を暴き出す快著。</p>	
	<p>エーバーハルト・シュタインドルフ著／識名章喜訳 シュターツカペレ・ドレスデン —奏でられる楽団史 1616-9 A5 判上製 316 頁 3,800 円</p>	<p>ドラマトゥルク兼指揮者補佐だった著者が、歌劇場所有の豊富な写真・資料と実際の演奏活動をもとに、シュターツカペレ・ドレスデン（ドレスデン歌劇場管弦楽団）の壮大な 460 年史を楽曲形式でまとめあげる。</p>	



	<p>滝浪佑紀 著 小津安二郎 サイレント映画の美学</p> <p>2619-9 A5 判上製 340 頁 4,200 円</p>	<p>ハリウッド映画に強く見せられた若き日の小津はどのように映画表現を発展させたのか。ハリウッド映画との比較、ヨーロッパ前衛映画論への参照から、初期小津作品の映画的達成を検証する野心作。</p> <p>(19)<778.21></p>	
	<p>河島伸子・大谷伴子・大田信良 編著 イギリス映画と文化政策 —ブレア政権以降のポリティカル・エコノミー</p> <p>1976-4 A5 判並製 216 頁 2,600 円</p>	<p>1990 年代以降の映画・テレビなどの映像文化への政策や市場環境変化の分析を通じて単なる文化研究ではなく、グローバル化する経済・変容する政治の側面も含んだ「英国」理解へと導く、意欲的な 8 つの論集。</p> <p>【図】(12)<709.33></p>	
	<p>高橋悠介 著 禅竹能楽論の世界</p> <p>2099-9 A5 判上製 472 頁 6,600 円</p>	<p>ポスト世阿弥時代に「天下第一の上手」と称えられた能作者、金春禅竹（1405～70 前後）。その身体論や世界観を、荒ぶる神と仏が織りなす宗教思想のダイナミズムの中から明らかにする。能楽研究・思想史研究に新たな地平を切り拓く一書。</p> <p>(14)<773.8></p>	
	<p>平林正司 著 十九世紀フランス・バレエの台本 —パリ・オペラ座</p> <p>0827-0 A5 判上製 400 頁 4,000 円</p>	<p>オペラとバレエの殿堂「パリ・オペラ座」で、ロマン主義運動の一環として創作されたバレエ・ロマンティックを中心に、代表的な台本 20 編を世界で初めて翻訳。バレエ愛好家と仏文化研究者の必読書。</p> <p>(00)<769.935></p>	
	<p>ナンシー・レイノルズ、マルコム・マコーミック 著/ 松澤慶信 監訳 20 世紀ダンス史</p> <p>2092-0 A5 判上製 968 頁 12,000 円</p>	<p>バレエ・ダンス 100 年史の決定版！バレエ・リュス、表現主義舞踊、ロシアのバレエ、新古典主義、ポストモダン、タンツテアター、ミュージカル・映画のダンス。ヨーロッパとアメリカのダンス・シーンを完全網羅する前代未聞の大作。</p> <p>(13)<769></p>	
	<p>アニエス・イズリーヌ 著/岩下綾・松澤慶信 訳 ダンスは国家と踊る —フランス コンテンポラリー・ダンスの系譜</p> <p>1786-9 四六判上製 312 頁 2,800 円</p>	<p>「調和」、「秩序」、「中央集権」を表象していたフランスのダンスは、20 世紀、多くの革新的試みの洗礼を受ける。今ふたたび国家と手を取り合い踊り始めるのか。身体を揺さぶるコンテンポラリー・ダンスの世界。</p> <p>【図】(10)<769.35></p>	
	<p>川崎市岡本太郎美術館・ 慶應義塾大学アート・センター 編 土方巽の舞踏 (CD-ROM 付) —肉体のシュルレアリスム身体のオントロジー</p> <p>1051-8 B5 判並製 200 頁 4,800 円</p>	<p>本邦初公開を含む 600 点余りの写真や交流のあった芸術家たちの証言などから、舞踏家土方巽の全貌に迫る。土方巽の二大代表作『肉体の叛乱』『瘡瘡譚』の貴重な舞台記録映像（各 10 分・CD-ROM）を初提供。</p> <p>【図】(04)<769.1></p>	
	<p>シルヴィア・パジェス 著/パトリック・ドゥヴォス 監訳/ 北原まり子・宮川麻理子 訳 欲望と誤解の舞踏 —フランスが熱狂した日本のアヴァンギャルド</p> <p>2410-2 A5 判並製 384 頁 5,400 円</p>	<p>日本の前衛芸術「舞踏」は、フランスでどのように受容され、発展したのか？ 舞踏をめぐる文化のダイナミズムを明らかにし、身振りを介した日欧の歴史を亡霊のごとく浮かび上がらせる、革新的な日本文化受容論。</p> <p>(17)<769.1></p>	

慶應義塾大学出版会 美術史学会会員様向け 書籍割引販売ご注文書

ISBN978-4-7664 を
省略しています。
↓

FAX : 03-3451-3122

書名	編著者	ISBN	本体(円)	割引価格(円・税込)	ご注文部数
バウムガルテンの美学	井奥陽子著	2655-7	5,800	5,100	
芸術の言語	ネルソン・グッドマン著/ 戸澤義夫・松永伸司訳	2224-5	4,600	4,000	
芸術とその対象	リチャード・ウォルハイム著/ 松尾大訳	2684-7	4,200	3,700	
ありふれたものの変容	アーサー・C・ダントー著/ 松尾大訳	2484-3	4,600	4,000	
ビデオゲームの美学	松永伸司著	2567-3	3,200	2,800	
音楽の哲学入門	セオドア・グレイシック著/ 源河亨・木下頌子訳	2588-8	2,500	2,200	
悲しい曲の何が悲しいのか	源河亨著	2634-2	2,500	2,200	
なぜフィクションか?	ジャン＝マリー・シェフェール著/ 久保昭博訳	2575-8	5,000	4,400	
ニンファ その他のイメージ論	ジョルジョ・アガンベン著/ 高桑和巳編訳	2142-2	3,200	2,800	
美学から政治へ モダニズムの詩人とファシズム	石田圭子著	2084-5	4,000	3,500	
ミュージアム・エデュケーション	ミヒヤエル・パーモンティエ著/ 眞壁宏幹訳	1967-2	3,800	3,300	
アルテ・ポーヴェラ 戦後イタリアにおける芸術・生・政治	池野絢子著	2318-1	5,400	4,800	
アート・ワールド	ハワード・S・ベッカー著/ 後藤将之訳	2324-2	4,800	4,200	
ヴァイマル文化の芸術と教育	眞壁宏幹著	2661-8	6,000	5,300	
(教養研究センター選書 18) ジョン・ラスキンの労働者教育	横山千晶著	2515-4	700	600	
(三田哲学会叢書) 日本美術がワカル本	林温著	2488-1	700	600	
浮世絵とパトロン	内藤正人著	2118-7	2,500	2,200	
(教養研究センター選書 9) 触れ、語れ	浮世絵ってどうやってみるんだ? 会議編	1836-1	700	600	
瀧口修造 1958 旅する眼差し	慶應義塾大学アート・センター編	1662-6	50,000	44,000	
ニコラ・プッサン	望月典子著	1716-6	8,000	7,000	

慶應義塾大学出版会

ISBN978-4-7664 を
省略しています。

FAX : 03-3451-3122

書名	編著者	ISBN	本体(円)	割引価格(円・税込)	ご注文部数
(三田哲学会叢書) タブローの「物語」	望月典子著	2709-7	700	600	
歌曲(リート)と絵画で学ぶドイツ文化史	石多正男著	2147-7	2,700	2,400	
写真の存在論	荒金直人著	1670-1	2,200	1,900	
西洋活字の歴史	スタン・ナイト著/ 高宮利行監修/安形麻理訳	2111-8	6,000	5,300	
ニュー・ミュージコロジー 音楽作品を「読む」批評理論	ジョゼフ・カーマンほか著/ 福中冬子訳/解説	1978-8	3,200	2,800	
ドイツ・バロック器楽論	佐藤望著	1227-7	6,000	5,300	
ライヒャルト ゲーテ時代の指導的音楽家	滝藤早苗著	2489-8	14,000	12,300	
バルトーク 音楽のプリミティヴィズム	太田峰夫著	2472-0	4,500	4,000	
ショスタコーヴィチとスターリン	ソロモン・ヴォルコフ著/亀山郁夫・ 梅津紀雄・前田和泉・古川哲訳	2499-7	5,800	5,100	
シュターツカペレ・ドレスデン	エーバーハルト・シュタインドルフ著/ 識名章喜訳	1616-9	3,800	3,300	
小津安二郎 サイレント映画の美学	滝浪佑紀著	2619-9	4,200	3,700	
イギリス映画と文化政策	河島伸子・大田信良・大谷伴子編著	1976-4	2,600	2,300	
禅竹能楽論の世界	高橋悠介著	2099-9	6,600	5,800	
十九世紀フランス・バレエの台本	平林正司著	0827-0	4,000	3,500	
20世紀ダンス史	ナンシー・レイノルズ、マルコム・ マコーミック著/松澤慶信監訳	2092-0	12,000	10,600	
ダンスは国家と踊る	アニエス・イズリーヌ著/ 岩下綾・松澤慶信訳	1786-9	2,800	2,500	
土方巽の舞踏	川崎市岡本太郎美術館・慶應 義塾大学アート・センター編	1051-8	4,800	4,200	
欲望と誤解の舞踏	シルヴィア・パジェス著/ パトリック・ドゥヴォス監訳	2410-2	5,400	4,800	

お届け先：〒		
	Tel:	Fax:
ご芳名		
ご請求先(お届け先と異なる場合、ご記入下さい)		
備考		